

K S K Q まほろば会報

NO. 128 2025年11月3日
毎月3日発行 定価1部200円
編集人 特定非営利活動法人
奈良県精神障害者家族会連合会（まほろば会）
〒630-8357 奈良県奈良市杉ヶ町20-2
更谷アパート1階西
TEL 090-9213-2731 FAX 0742-51-5506

2025年度みんなねっと京都大会 交通運賃割引分科会

割引制限の撤廃などこれからの取り組みについて意見交換

9月6日開催のみんなねっと京都大会 第4分科会は、「交通運賃割引運動のこれまでとこれから～身体・知的との格差解消から、障害者のニーズに基づく割引制度を目指して～」をテーマに開催しました。この分科会には、家族、当事者、支援者60名の参加がありました。

分科会の前半は、みんなねっとが2014年から格差解消を目指した取り組みを通して

100km以下の割引制限など障害者割引の制度そのものに問題があることが見えてきました。

そのため、制度の改善に向けたこれからの取り組みについて提案。後半では、この提案について、参加者と意見交換を行ないました。

（これからの取り組み内容は、まほろば会報2025年9月号参照）

【参加者との意見交換】質問・意見

後半の意見交換では11名の方から質問や意見がありました。発言者の名前は聞き取れなかった方があり、記載していません。

- ・愛知県の家族：原さんの鉄道の土台に国費の投入提案に賛成です。道路は国のもの、鉄道は事業者のものはおかしい。安全対策と路線の維持が必要。
- ・大阪の当事者（ぼちぼちクラブ）：ぼちぼちクラブはDPIに委員として参加している。2か月に1回の全国会議に、病院と家族の問題など当事者の抱えている問題について声を届けに行きたい。しかし、東京までの特急料金に割引がなく、毎回の参加が出来ない。
- ・家族：西鉄が精神への割引を実施した。利用が増えて収益が増えたのではないかとデータを示したらどうか。
- ・三重県の当事者：今回の割引実施により、遠くへ行けるようになった。ありがたい。
- ・京都の当事者：現在50歳、結婚して15年。自宅から実家へ行くときに市バスは無料だが、9号線を超えると有料になる。

- ・茨城県の当事者、精神2級：2025年4月の鉄道の割引実施を契機に、県福祉部と懇談、連携して中小の鉄道に働きかけた。
- ・大阪の家族：原さんの提言に賛成。今後どのように取り組んでいくのか、他障害は現在の制度そのものについて、どう考えているのか。JDFへの働きかけを。
- ・滋賀県の当事者：ICOCA、ICカードについて、精神障害者は利用できない。
- ・栃木県の当事者：切符を買うまでに時間がかかる。
- ・京都府の当事者：障害者間格差について、心臓、脳、糖尿に病気があり、医療費の3割負担はきつい。精神障害者の年収127万円以下が8割いる。
- ・沖縄県の家族：沖縄には鉄道がない。鉄道の土台に国費が投入されれば、沖縄にも鉄道の可能性が見えてくる。

【参加者との意見交換】質問・意見に対する回答

- ・ICOCA、ICカードについて：障害者でない人が使っていたため、悪用を防ぐために対策がとられている。
- ・今後の取り組みに関連して：JR北海道の路線は昔の1/3くらいしか残っていない。国会議員にも呼びかけて院内集会の企画も必要。

ローカル線の存続は障害者だけの問題ではないのでマスコミも関心を示すでしょう。

- ・西鉄の割引実施により利用が増えたデータを示す。：西鉄の割引実施後に、利用者の増加や収益の変化について問い合わせたが、そのような変化は見られませんでしたと回答された。

9月1日 第73回奈良県医療審議会

奈良県総合医療センターの身体合併症のための精神科病床16床の削減を承認

9月1日（月）第73回奈良県医療審議会がオンラインで開催されました。まほろば会も疾病対策課から連絡を受けて西村・三島・奥田・森本がZOOMで傍聴しました。

医療審議会の議案は、奈良県総合医療センターの身体合併症のための精神科病床40床の内16床を削減し、24床を精神科病床として運用するというものです。当日、文書による資料が提示されました。その主要な部分は次の通りです。

【開院以来の運用状況】

県総合医療センターにおいては、2018年5月の新病院開院以来、閉鎖病棟20床については稼働していたが、開放病床20床については、医師、看護師等の人員体制が整備できず休床となっている。今日まで精神科においては、閉鎖病棟20床と一般病床での運用となっている。

【精神科病床における運用について】

- ・精神科病床の運用は、精神身体合併症患者を閉鎖病棟へ入院させ、精神科医師が他科スタッフと連携し、治療を提供する。
- ・一般病床の運用は、集中治療室をはじめ精神科ではない他科の診療科病棟へ精神科医師が赴き、他科スタッフと連携し精神身体合併症患者へ治療を提供する（リエゾン対応）

◆ 県総合医療センターの今後の方針

- ・閉鎖病棟での治療を必要としない患者については、集中治療室をはじめ、それぞれの診療科病棟において入院治療を行い、精神科医師がリエゾンとして支援することにより適切な医療を提供できている。
- ・今後の活用案として、身体管理が必要な精神患者の転院による地域の精神科病院の負担軽減のため、開放病床20床のうち、4床を新たに精神科病床として開設し、24床で運用して身体合併症に対応し、退院前患者のフォローを行うことで、精神科入院体制の充実に取り組む。
- ・16床の削減により確保されたスペースについては、がん治療や救急医療を充実させるために有効活用し、経営改善に取り組む。（一般病床に係る許可病床494床内での対応）

◆ 精神科救急医療システムの体制整備について

- ・身体合併症への対応強化として、県として現在の精神科救急医療システムの再整備を検討。具体的には、身体合併症患者については、消防救急から直接医大へ連絡、医大内部にて協議の上、一般科、精神科のどちらの対応となるかを判断、精神科で問題ない場合に、輪番病院での対応とするルールをシステムに落とし込むことを検討。
- ・現在8病院で対応している精神科救急医療システム輪番病院への参画についても、県総合医療センターにて検討中である。

◆ 県の方針について

- ・閉鎖病床20床とリエゾン支援による一般病床の運用により、重症な身体合併症患者への対応という当初の目的は達成していると考える。
- ・本県の医療計画においては、限られた医療資源を地域全体で有効に活用し、必要な医療を必要な所に適切に提供することが基本方針として掲げられている。医療資源をより効果的に配分し、持続可能な医療提供体制を確保するため、精神科病床の適正化は不可欠であると考える。
- ・以上より、現状の病床稼働状況及び今後の見込みを鑑み、県としては県民全体の利益と長期的な視点に立つ必要があり、持続可能な医療体制の確保という観点から総合的に判断すると、「40床の特例病床について16床を削減し、24床を精神科病床として運用する」という総合医療センターの方針は、概ね適当であると判断する。

審議の結果、反対意見もありましたが疑問を呈されている事項について付帯意見を付けて承認

ご報告

きょうされん第48回全国大会 in 奈良

はじめよう 戦後80年から 咲かせよう まんまの笑顔を

～みんなのチカラ 奈良の地から～

きょうされん(旧・共同作業所全国連絡会)は1977年に障害のある人たちの願いをもとに、16カ所の共同作業所によって結成され、2014年度からは障害のある人たちへの理解を社会に広げ、安心できる地域生活をめざし、活動を続けています。

このきょうされん全国大会が、10月17日・18日の二日間にわたり奈良県コンベンションセンターにて開催されました。障害のある人600人を含む2,200人が集った大イベントのごく一部となりますが分科会「精神障害ある人への支援」の概要をご報告いたします。

ありがとうございました



この分科会では、当事者・家族・支援者の実践と運動について報告を受け、地域で当たり前前に生活する権利とは何なのかが話し合われました。

前半は、身体・知的の福祉医療助成が重度の中で、精神障害者への助成が1級、2級の中度まで実現した奈良県での運動の報告が奈良県家族会の奥田和男氏と支援者の刀根治久氏から報告されました。

奥田さんは、奈良県で1級、2級が実現できた背景について、家族、支援者、当事者の連携した運動ができたことを強調。

そして、39市町村への市町村キャラバンや県議会への請願提出以降の県議会傍聴に支援者と共に参加した当時者が「安心して治療を受けられるようにして下さい」と震えながら訴える言葉や真剣に質疑を見守る姿勢は、議員や行政の関係者の理解を深めた、と報告。

また、12市の市長会が、「まずは1級から」と2級助成を見送ったことに対して、市長会会長出身の御所市を訪問して、県に合わせた助成を求めたとき、当事者が「私は、お腹が痛くなりましたが、家族に負担をかけないために我慢をしました。その結果、我慢が出来なくなって腹膜炎と診断されました。重症になる前に治療を受けさせてほしい」と訴えました。御所市長は、「皆さんに辛い思いをさせることはしません」と答えてくれました、と報告。

続いて刀根さんからは、福祉医療の具体的な取り組み内容について報告。

市町村キャラバンでは、事務局でそれぞれの市町村担当を決めて日程調整や要望書に対する市長の承認印のある回答を求めた

こと。マスコミ対策の担当は実現会議の速報や一つ一つの取り組みの情報を記者クラブに伝えたこと。実現会議として事務局が入院患者や支援施設への通所者1,100人を対象に医療費助成のニーズ調査を行い報告書にまとめたこと等を報告。

合わせて、伊藤時男さんの国賠訴訟を紹介し、精神医療国家賠償請求訴訟研究会のリーフレットを配布、入会を訴えました。

こうした取り組みを通して、奈良県は、2014年10月から精神保健福祉手帳1級、2級を対象に精神科通院以外のすべての科目の医療費助成(福祉医療)を導入。県の実施に合わせて、15の町と12の村は1級、2級を対象に助成しましたが、12の市は、「まずは1級から」と県の2級助成に抵抗、そのため、全市町村の県に合わせた助成制度の実施は2017年4月からになりました(天川村は3級まで対象)。

元奈良県職員の村田清氏は、「当時、福祉医療の導入は長期入院を助長させるのではないか?という懸念もあった。その後、県が実施した精神障がい者の実態調査により、家族に依存している当事者の生活が浮き彫りになったことと、当時者・家族・支援者による運動が人をつなげ、制度実現につながった」と話されました。

埼玉県やどかりの里の増田一世氏は、奈良の運動は、実態とニーズを中心につながることの重要性を示した。福祉医療のまもりが伊藤時男さんの裁判に生かされている。国が精神科病床の削減方針を示し「精神医療における変革の時期にきている。情報共有しあいましょう」と話されました。(後半グループワークは紙面の都合で省略)

精神障害者の家族による家族のための電話相談 お気軽に電話ください
☎ 0742-51-5506 月・金曜 (休日/祝日はなし) 午前 10:30～午後 3:00

～ 10月家族会活動短信 ～

- ★ともしび会 10/19 参加 16名 (市内事業所職員1名含む) きょうだいの立場である会員の体験談発表。両親の介護・看取りと、自宅でひきこもられている妹さんとの暮らしから生じる葛藤とそれぞれの歩みを拝聴。「子は親から認めてもらいたい」という言葉が、障がいあるなしに関わらない大切な声だと感じた。後半の一部、別の会員からの相談を参加者と話合う。
- ★ひだまり会 10/18 参加 10名 見学 2名
10月7日に会員4名で生駒警察署を訪問、精神障がい者の種々の特性を説明し対応に配慮頂きたいと要望書を提出致しました。例会では生駒市が「重層的支援体制整備事業」として新設した「いこまる相談窓口」で相談するために家族の困りごとや悩み事を出し合いました。
- ★さくら会 10/19 4名 みんなねっと京都大会と大和郡山市の第1回家族教室の報告を聞いて話し合う。大和郡山市第2・第3回家族教室の案内と参加の呼びかけがありました。
- ★天理こころの会 10/8 参加 8名 みんなねっと9月号特集「やってて良かった家族会」を読み合わせ。その後の近況報告では、連れ合いの脳梗塞によるリハビリや会員の入院・手術・他界等の報告がありました。
- ★西和家族会 10/26 5名 まほろば会連絡

会の報告とまほろば会報10月号掲載「みんなねっと京都大会の報告を読み合わせましたその後、新規加入者を中心に近況報告をしました。

- ★すみれ会 10/19 9名 まほろば会連絡会の報告後、近況を話し合う。退院後の生活も落ち着き、次のステップへと親は思うが口には出せないなど、親の思いは複雑で見守るしんどさの話になりました。

- ★のぞみ会 10/12 7名 まほろば会連絡会の連絡事項と萌見学ツアーの連絡。11/10(土)磯城郡地域自立協議会での未来づくりWT研修会の連絡の後、家族交流会を行いました。

- ★こすもす会 10/15 参加 5名 4ヶ月ぶりに5人集り近況報告と安否確認しました。のどかの職員さんから医療保険とマイナンバーの話を聞きました。

- ★松葉会 10/8 参加 8名 心理士1名、作業療法士1名で開催。作業療法士さんとの交流会と作業療法士の役割とこれまでの関わった事例の説明や講義を受ける。初めての方1名参加、入会希望してくださる。

- ★あらくさ会 10/18 参加 6名 11月学習会の内容を協議。交流会は、本人が病気や障害を認めないときや医療不信がある場合に親はどこまで関与するか、あるいは見守る方が良いのか。様々な状況について話し合う。

まほろば連絡会・家族会の開催予定

家 族 会	11 月	12 月
まほろば会	8日(土)13:30 大和郡山市市民交流 1F	13日(土)13:30 大和郡山市市民交流 2F
ともしび会	16日(日)13:30 はぐくみセンター	休 会
ひだまり会	15日(土)13:30 ららポート	20日(土)13:30 ららポート
さくら会	10日(月)第2回障害者家族教室に参加	21日(日)13:30 三の丸会館
天理こころの会	12日(水)13:30 桑サロン	10日(水)13:30 桑サロン
西和家族会	22日(土)13:30 王寺町やわらぎ会館	20日(土)13:30 王寺町やわらぎ会館
すみれ会	16日(日)13:30 大和高田市中央公民館	21日(日)13:30 大和高田市中央公民館
のぞみ会	9日(日)13:30 青垣生涯学習センター	14日(日)13:30 県心身障害者福祉センター
家族会 秋桜)	20日(木)13:30 地域活動センター のどか	18日(木)13:30 地域活動センターのどか
松葉会	12日(水)12:00 やまと精神医療センター	20日(土)10:30 吉田病院さすなルーム
あらくさ会	15日(土)10:30 吉田病院さすなルーム	20日(土)10:30 吉田病院さすなルーム